

iPS細胞研究の円滑な 推進のための環境整備

平成19年12月25日

内閣府
文部科学省

経緯

- 京都大学山中教授が、世界初のヒト人工多能性幹細胞(ヒトiPS細胞)の作製に成功(11月)。
- 福田総理より、総合科学技術会議本会議(11月28日開催)において、「研究を円滑に進めるための環境づくり」について指示があった。

総合科学技術会議における政府横断的な環境整備に向けた検討体制

- ・内閣府では、総合科学技術会議の下にiPS細胞研究ワーキング・グループを設置。
- ・第1回会合を1月10日に開催。

(主な検討事項)

- (1) 包括的なiPS細胞研究の進め方、研究体制の整備について
- (2) 研究の進捗状況に応じて、臨床研究の指針等のガイドライン類の整備に向けた各省調整について
- (3) iPS細胞研究に関連した知的財産の保護とその支援方策について
- (4) iPS細胞関連研究の国際動向について

文部科学省におけるiPS細胞(人工多能性幹細胞)研究等の加速に向けた総合戦略

平成19年12月22日 文部科学省

総合戦略策定の目的

ヒトからiPS細胞の作成に成功した成果を受け、iPS細胞研究等に関して国際競争が進む中、我が国の研究を加速させ、日本全体で戦略的に進めていくために、総合戦略を策定。総合戦略の実施に当たっては、総合科学技術会議における検討とも十分に連携して進める。

今年度中の緊急支援策

(1) 日本全体の研究推進体制の確立

- ・総合戦略策定、「幹細胞・再生医学戦略委員会」の設置
- ・世界トップレベル研究拠点「物質 - 細胞統合システム拠点(京都大学)」内に、「iPS細胞研究センター」を開かれた拠点として整備
- ・開かれたネットワーク組織としてiPS細胞研究センターを中心とした「iPS細胞研究コンソーシアム」を組織化

(2) iPS細胞研究の加速

- ・戦略的創造研究推進事業の既存研究活動の加速を支援
- ・当面の新たな研究スペースを確保
- ・特別シンポジウムの開催により、研究者ネットワークを拡大

(3) iPS細胞等を用いた再生医療実現に向けた研究加速

- ・「再生医療の実現化プロジェクト」の公募を早急に開始

(4) iPS細胞の利用の円滑化

- ・原則無償提供等、iPS細胞研究コンソーシアム内におけるiPS細胞の利用体制の構築

(5) iPS細胞に関する特許の確保

- ・出願中の特許の強化に向けた追加出願や、海外特許の確保等を実施

来年度以降の措置

(1) 日本全体の体制で研究を推進するための環境整備

- ・世界トップレベル研究拠点プログラムの活用を通じた「iPS細胞研究センター」へ継続的支援
- ・生命倫理の観点について、科学技術・学術審議会生命倫理・安全部会の専門委員会における検討を継続的に実施

(2) iPS細胞研究のさらなる加速

- ・戦略的創造研究推進事業の一環として、「iPS細胞等の細胞リプログラミングによる幹細胞研究戦略事業プログラム」の新設による研究活動の支援
- ・科学研究費補助金により基礎研究を支援
- ・iPS細胞等の研究を行うために必要な研究環境を確保

(3) iPS細胞等を用いた再生医療実現に向けた研究加速

- ・「再生医療の実現化プロジェクト」による研究活動支援の開始

(4) iPS細胞の利用の円滑化

- ・iPS細胞コンソーシアム内におけるiPS細胞に関する知的財産に関する情報のデータベース構築
- ・iPS細胞コンソーシアムの外に対する、iPS細胞の提供体制の構築